

差ならば TBC Index 値 0.05 程度なので許容範囲と考えた。

Triosorb と Res-O-Mat の比較では hyperthyroid の場合は Res-O-Mat の方が Triosorb に比べ低値を示す傾向が見られた。

質問：大場 覚(金大放射線科) Triosorb に代って使用される意義があるかどうか。

答：加藤外栄(国立金沢病院特殊放射線科) Incubation 温度の補正を必要としないのが最大の特徴と思われる。

質問：古本節夫(富山県立中央病院放射線科) 1. Res-O-Mat 法において至適 incubation time を何時間前後と考えるか。

2. 標準血清間に Res-O-Mat 値にばらつきはないか。

答：加藤外栄(国立金沢病院 特殊放射線科) 甲状腺機能低下症および正常者では 2 時間値まで緩慢に変化するが、甲状腺機能亢進症では 1 時間値まで急激な変化を示す。従って 2 時間値が適当と思われる。

質問：久田欣一(金大核医学診療科) 標準血清のバラツキについてメーカー側の見解を伺いたい。また、今後貴社で継続的に PBI 測定などで標準血清をチェックされますか。

答：高野襄児(第一ラジオアイソトープ研究所) 標準血清についてはプール血清を使用。マリンクロット社より輸入しており、現在 TBC-Index 値は 1 になるよう補正されているが、今後なお先生方のご検討をお願いすると共に当社においてもバラツキなどチェックし検討を加える予定である。

追加：立野育郎(国立金沢病院 特殊放射線科) 患者血清摂取率は、TBC Index を求める場合には、何等求める必要がなく、いわゆる 2nd count を測定するだけでよい。すなわち、最後に患者と標準血清の計測を行なうのみにて求められる。これも Res-O-Mat 法の特徴と考えられます。

*

4. 心プールスキャン

—興味ある数例の考察から—

井村 優 井沢宏夫 東福要平
能登 稔 黒田満彦
(金沢大学 第2内科)

〔目的〕 演者らの数年間の経験例からの興味ある数例を中心に、心プールスキャンの臨床的評価を試みた。

〔方法〕 $^{113m}\text{In} \cdot \text{Fe}$ microcomplex 1~3m Ci または RISA 500 μCi を静注し背臥位で走査。心プールスキャン後、同じ体位で可及的遠距離より胸部線写真を撮影した。

症例供覧 ①70才男子、高血圧性心不全 ②44才男子、僧帽弁狭窄症による巨大左房瘤 ③43才男子、前縦隔洞部の異所性胸腺腫 ④22才男子、肺動脈付近の kassiger Masse による肺性心 ⑤69才男子、コレステロール心膜炎 ⑥39才女子、尿毒症性心膜炎 ⑦57才女子、高脂血症に合併した心筋硬塞後の心膜炎 ⑧44才男子、収縮性心膜炎など。

〔断案〕 ①心プールスキャンは、心膜貯留液の診断の他、cardiomegaly を呈する心疾患、心陰影に接する異常陰影などの診断にも有用である。ただ、癒着性心外膜炎の診断のさいには留意を用する。②通常心外膜液貯留に3つの診断ポイントを上げられているが「心肝の間隙の存在」が最も確実であるが effusion の少ないときに問題がある。胸部 X-P. とスキャン像の「心横径の相異」は、心室壁肥厚、X線撮影条件の相異もあり決定的でない「心プール像の絶対的縮小」に関しては、記録時の cut down でも相異しうるので診断的価値は高くない。③ $^{113m}\text{In} \cdot \text{Fe}$ microcomplex は、調整方法が容易で解像力もよく、また母核種の常備が可能などの利点がある。④ γ -camera を推奨するものもいるが、現段階では、走査法が位置決め、解像力などで秀れていると考える。

*

5. Radiocisternography の経験

方本節夫 横山 弘 正谷 健
(富山県立中央病院 放射線科)

RI による頭蓋内各脳槽 cisterna クモ膜下槽 cisterna subarachnoidalis の形態的認識を目的として研究を行なった。

RISA 200 μCi を腰椎穿刺により静かに注入し anterior-, lateral-, posterior- view の三方向より、注入後 3 時間、10 時間、24 時間、48 時間と経時的に scan した。注入された、RI は体位に関係なく脊髓腔内を上昇し、3 時間前後で、basilar cisterna, Cisterna fossae lat cerebri に入り、さらに 10 時間前後で cerebral hemispheres の槽に入る。24 時間前後で cavum superior sagittal subarachnoidal に集まり 48 時間前後で absorption される。

この過程を通して Cisterna inter peduncularis, Cisterna chiasmatis, Cisterna portis, Cisterna cerebullo-